

特集

第 2 回東京国際科学フェスティバル 開催に向けて

平井明、永井智哉、内藤誠一郎、三上真世、縣秀彦（国立天文台）、北原和夫（国際基督教大学）、竹内富士夫（三鷹市）、山口亮三（三鷹ネットワーク大学推進機構）、佐々義子（くらしとバイオプラザ 21）、滝川洋二（ガリレオ工房）、ほか第 1 回東京国際科学フェスティバル実行委員会

1. はじめに

東京国際科学フェスティバル実行委員会は、科学を楽しみ、技術に親しむお祭りとして、「地域の絆を世界の絆に」をモットーに、「東京国際科学フェスティバル」を企画しました。大人も子どもも全ての人々が科学を楽しむ文化を地域に広げ、『科学好き市民』のコミュニティを形成します。この科学フェスティバルによって、科学文化の街としての観光資源が創出され、また、市民と企業、大学・研究機関、生涯学習施設、学校教育機関関係者との間のコミュニケーションが高まり、地域の文化、産業、生活のさらなる活性化に繋がることが目指しています。

東京には、国内外に向けて情報発信をしている大学、研究機関、地場産業、博物館などが居住地域のなかに密集し、科学、技術、文化が、生活の場と隣り合わせで存在しています。また、国際的な草の根交流が盛んであることもこの地域の特徴です。この地域の特徴を活かし、世界天文年 2009、ダーウィン生誕 200 年、「種の起源」刊行 150 年を記念して、2009 年に第 1 回東京国際科学フェスティバルが創設されました。

今回は、第 1 回の開催報告と、第 2 回の募集案内をご紹介します。

2. 第 1 回開催報告

2009 年の第 1 回東京国際科学フェスティバルは、テーマを「宇宙・生命・地球、そしてわ

たしたち」として、東京三鷹を中心に都内全域にて、9 月 12 日～27 日の 16 日間開催されました。参加団体は 86 の機関・団体・個人で、イベント数は 110 件、参加人数は、延べ約 30,000 人でした。

東京国際科学フェスティバル実行委員会が主催した大きなイベントから、一市民が開催した街中のサイエンスカフェまで、様々なイベントが開催されました。

オープニングイベントとして、NPO 法人ガリレオ工房が、サイエンスライブショー「ガリレオ～宙を見た人～」が開催されました。このオープニングイベントは、三鷹市市制施行 60 周年記念イベントである「三鷹の森 科学文化祭」の一環として行われ、冒頭で、三鷹市の清原慶子市長からご挨拶がありました。

期間中には、サイエンス・フェスティバルの本場イギリスからマーク・ルーニ氏が、エレキギターを片手に 11 次元宇宙を語るパフォーマンス公演を行いました。

三鷹市内では、「みたか太陽系ウォーク」と題して、太陽系を 13 億分の 1 に縮め、三鷹市内の商店街を実感太陽系として様々な商店の協力の下、スタンプラリーが開催されました。

クロージングイベントとしては、「地域の絆を世界の絆」と題して、物理化学者のイラン・チャバイ氏の講演と実演などが三鷹市公会堂で開催され、第 1 回東京国際科学フェスティ

バルの幕を閉じました。

なお期間中の様子は、YouTube「TISF チャンネル」[1]にまとめられていますので、ご覧ください。



図1 第1回メインビジュアル

3. 第2回概要

3.1 テーマ

2010年は国際生物多様性年、地球に生きる生物・生命・生態系（Life）を考える年であり、日本における航空100年、現在の社会と暮らし（Life）を支える科学と技術を見つめる年でもあります。

それを踏まえて、第2回フェスティバルのテーマは、「いのちの星 地球～Science for Life～」としました。

3.2 期間

開催期間は、2010年9月11日（土）～10月10日（日）30日間としました。

3.3 会場エリア

三鷹を中心に都内全域とし、大学、研究機関、博物館、企業など、生活圏に点在する科学技術スポットがフェスティバル会場となります。大都市圏・東京都内全域に広がって展開する国際フェスティバルを目指します。

3.4 目的

市民・NPO・企業・自治体などの地域社会が、科学者とともに行動を起こし、多様な主体の協働の中から、市民が「科学」を通じてコミュニティを形成する仕掛けを創出するとともに、以下の4項目の実現を目指します。

(1)地域に根ざした、市民が科学を楽しむ活動の定着

(2)新たなネットワーク形成が生み出す「文化としての科学」の醸成

(3)都内各地域への波及と各大学・研究機関等との連携

(4)各地域・市民での教育・産業・観光・社会生活への波及効果

4. 会員参加募集

4.1 参加資格

あらゆる個人・グループ・団体にご参加いただけます。

一般市民、NPO、企業、科学館・博物館、大学・研究機関、教育関係者、研究者、技術者等、法人格の有無を問いません。

ただし、募集概要（趣旨）に賛同し実行委員会規則を遵守していただける方に限ります。

4.2 募集種別

以下のような様々な形で参加募集を行います。

(1) 企画会員

様々な個別企画の主体的な実施を希望する会員。

(2) 出展会員

会場が用意されれば、ブース展示やポスター発表などを希望する会員。

(3) 会場会員

様々な企画に使用できる会場施設などの提供を希望する会員。

(4) スタッフ会員

実行委員会全体企画、個別の会員企画で募

集されるスタッフとして参加を希望する会員。

(5) 協賛会員

本フェスティバルの運営、全体で実施される企画などに対する協賛などの支援を希望する会員。

なお、募集の対象とならない参加は、以下の通りです。

- ・本実行委員会の目的にそぐわない参加
- ・政治的・宗教的アピールを主たる目的とする参加
- ・科学（文化）に関連の薄いテーマを取り上げる参加
- ・特定の団体の構成員、会員のみを対象とする参加
- ・実施の実現性が薄い、その他相応しくないと判断される参加

4.3 参加方法

東京国際科学フェスティバル Web ページ [2]より「参加登録」会員情報を登録していただきます。締め切りは、5月31日までです。

運営会議により趣旨・規則に沿っていることを確認し、会員として承認されます。

4.4 実行委員会の機能

参加承認後、実行委員会からは、連携イベントのための情報提供や、企画主催者、会場提供希望者、スタッフ希望者間の情報共有、その他、会員の情報交換・発信をサポートいたします。

なお、人的並びに資金的な援助・支援はありません。また、手配や斡旋は行いません。会場・設備・スタッフの手配、準備設営、集客・宣伝等、個々の企画実施に関わる一切の業務は各会員が行います。

実行委員会の広報活動としては、発行物（フライヤー・ポスター）を都内全小中高校・図書館・その他の施設等にフライヤー20万枚、

ポスター4000枚を配布いたします。

Webサイト上にて、イベント・データベースを構築します。ブログやYouTubeチャンネルでイベント紹介を行います。

各種メディア掲載や、屋外広告等にもイベント告知を行います。

また、「東京国際科学フェスティバル」への参加を検討されている方に向けた、電子メールサービスとして、TISF information を配信しています。企画出展等の募集に関する情報、イベントスタッフ等の募集に関する情報等を、実行委員会からご案内しています。

4.5 参加に当たって

会場・時間枠の確保、集客・宣伝及びイベント参加者登録等は、基本的に企画者が行ってください。

実行委員会の主催企画において、簡単な活動紹介等を依頼する場合があります。

実行委員会から、関係者の見学や報道機関等の取材・撮影の協力をお願いすることがあります。

企画者は、実施において管理者としての注意を払い、特に事故防止に十分留意してください。

5. 今後のスケジュール

2010年2月8日に、全体説明会を開催しました。その時の様子は、USTREAM[3]にてネット中継されました。アーカイブをご覧ください。

5月末までに参加会員の登録を締め切ります。

6月末には、詳細計画登録を締め切ります。これは、配布物（フライヤーやポスターなど）に掲載するためです。

7月から随時、イベント情報等を発信、フライヤー・ポスター配付を開始していきます。

9月10日(金)に前夜祭を開催します。ここには、会員登録していただいた方々にも集まっていたきたいと思っています。

9月11日(土)からいよいよフェスティバルが開幕です。

そして、10月10日(日)にクロージングイベントを開催予定です。

6. おわりに

今年で2回目となる「東京国際科学フェスティバル」。

実行委員会会員同士が結ぶ絆で「文化としての科学」を育むフェスティバルを一緒に作っていきましょう。

皆様の参加をお待ちしております。

【お問い合わせ先】

国立天文台 天文学情報センター

東京国際科学フェスティバル係

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

TEL: 0422-34-3802

FAX: 0422-34-3812

E-mail: apply2010@tokyo.sci-fest.net

URL: <http://tokyo.sci-fest.net/>

なお、本フェスティバルは、JST 地域の科学舎推進事業「地域ネットワーク支援」受託事業「東京サイエンスネットワークの構築」と関連して実施されています。

引用 Web サイト

[1] 東京国際科学フェスティバル

YouTube チャンネル

<http://www.youtube.com/user/TISFOfficial>

[2] 東京国際科学フェスティバル

<http://tokyo.sci-fest.com/>

[3] 説明会 USTREAM

<http://www.ustream.tv/channel/tisf>



東京国際科学フェスティバル
Tokyo International Science Festival

図2 東京国際科学フェスティバルのロゴマーク



平井 明